

**平成30年度 全道少年(U-11)8人制サッカー大会
兼第15回 JA全農杯チビリンピック小学生 8人制サッカー大会 苫小牧地区予選**

開 催 要 項

- 1 趣旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
- 2 名称 平成30年度 全道少年(U-11)8人制サッカー大会
兼第15回 JA全農杯チビリンピック小学生 8人制サッカー大会 苫小牧地区予選
- 3 主催 苫小牧地区サッカー協会
- 4 主管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
- 5 後援 苫小牧市教育委員会
- 6 期日 平成29年10月14日(土)・15日(日)
- 7 会場 緑ヶ丘公園サッカー場
- 8 参加資格
 - ① 「参加チーム」は今年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームでU-11で構成されたチームであること。
 - ② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
 - ③ 同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
 - ④ 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項③は適用される。
 - ⑤ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
 - ⑥ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
 - ⑦ 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
- 9 競技規則 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- 10 競技方法
 - ① 出場チームによるリーグ戦を行い順位を決定する。
 - ② 競技のフィールド
 - ・フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
 - ・ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
 - ・その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
 - ③ 試合球 公認球(少年用4号球)を使用する。
 - ④ リーグ戦での順位決定は、勝点(勝:3、分:1、負:0)、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果の順で決定する。これらによっても順位が決しない場合には、予選終了後にいわゆるPK方式(3人)にて順位を決定する。
 - ⑤ 競技者の数および交代
 - ・1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
 - ・登録できる交代要員および交代の最大人数は12名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
 - ・ただし、同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオドすべてに出場することは不可とする。
 - ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
 - ・延長戦については前後半で同一の選手の出場を可とする。(自由な交代を適応)

- ⑥ 競技者の用具
- ・競技者の用具については、公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。必ず正副2色のユニフォームを用意する。
 - ・選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
 - ・ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
- ⑦ テクニカルエリア
- テクニカルエリアは設置しない。ただし、監督またはコーチ・ベンチ役員が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
- ⑧ 審判員
- ・4人の審判で行う。
- ⑨ 試合時間
- ・試合時間は12分ー12分ー5分ー12分 の3ピリオド制とし、インターバルを5分とする。第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総入れ替えとし、第3ピリオドは交代自由とする。
 - ・第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したアウトオブプレーのタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフと
- 11 懲罰
- ① 本大会は、本協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
- ② 本大会の規律委員会委員長は苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- ③ 本大会期間中において警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④ 本大会において退場を命じられた競技者は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については規律委員会において決定する。
・競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員のの中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ⑤ 本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。
- 12 帯同審判
- ① 出場チームは(公財)日本サッカー協会公認審判員を必ず帯同させること。
- ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。ベンチ入り指導者が審判員を兼ねる場合は審判を優先しなければならない。
- 13 選手証
- ① 「参加選手」は(公財)日本サッカー協会発行の選手証(写真貼付したもの)を持参すること。ただし、電子登録証(写真が登録されたもの)が確認できる場合は出場を認めるものとする。
- 14 開会式
- 開会式は行わない
- 15 閉会式
- 平成29年10月15日(日)決勝戦終了後に行う。準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。
- 16 その他
- ① 選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。
- ② ベンチ入り出来る人数は選手20名以内、指導者4名以内とする。
- ③ 試合開始30分前に本部にてメンバー表の提出とユニホームチェックを行うこと。
- ④ 選手の保護者・関係者のマナー遵守(路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ)については、チーム責任とす
- ⑤ 帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割当を遵守すること。
- ⑥ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には事業委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- ⑦ 苫小牧地区の代表枠は1チームとし、代表チームには全道大会への参加を義務づける。(苫小牧開催が予定されている為、開催地枠を含め2枠の予定)